

ワクチン接種後の注意

- ワクチン接種後2～3日間は、できるだけ安静にして、激しい運動や入浴、シャンプーなどはお控えください。
- 接種後まれに一時的な痛みや腫れがあったり、元気や食欲がなくなることがあります。普段と違った様子が見られたら、当院へご連絡ください。
- 特に過敏な犬では、まれに下痢や嘔吐、顔の腫れ、かゆみ、けいれん、ふらつきなどの症状が見られることがあります。このようなときは、できるだけ早く当院へご連絡ください。

追加接種について

免疫を持続させるために、**定期的な追加接種をおすすめします。**



● ワクチンプログラム

[なまえ] ちゃん

[子犬] 1回目 年 月 日

2回目 年 月 日

3回目 年 月 日

[成犬] 年 月 日

ノビバック®

犬用



DOG

劇 動物用医薬品 要指示医薬品

犬用7種混合ワクチン ノビバック®DHPPI+L

犬用5種混合ワクチン ノビバック®DHPPI

犬用2種混合ワクチン ノビバック®PUPPY DP

犬レプトスピラ病ワクチン ノビバック®LEPTO

犬パラインフルエンザワクチン ノビバック®Pi

- ワクチン接種については当院にご相談ください。



Vaccine Guide

犬用 ノビバック®

ワクチンガイド

Nobivac®

Protection unites us.

【製造販売元（輸入）】
MSDアニマルヘルス株式会社 東京都千代田区九段北1-13-12
TEL 03-6272-0860 FAX 03-6238-9080
2023.12.10 JP-NOV-211200002



子犬の社会化とワクチン

生後3週齢から14週齢頃の時期は「社会化期」と言われ、中でも3～12週齢が子犬のしつけをする上で最も大切な時期です。この時期に他の犬と接触させるなど、さまざまな経験をさせることが重要です。この時期を過ぎると、見慣れないモノや経験のないことがらに対して、子犬は恐怖心を抱くことがあります。ひいてはおとなになってからの問題行動にまで発展してしまいます。より早期にワクチン接種を開始・終了して、子犬にさまざまな経験をさせてあげることが大切です。ノビバック®ワクチンなら、より早くワクチン接種を開始でき、より早くワクチン接種を終了することが可能です。

より早期のワクチン接種をおすすめします

犬パルボウイルス感染症やジステンパーは、子犬にとっては、特に恐ろしい感染症です。

より早くワクチン接種を開始して、早く免疫をつけることが望めます。ノビバック®ワクチンは、4週齢からの接種が可能です。

初めてワクチン接種をするオーナー様へ

1回目のワクチン接種では確実な免疫ができないことがあります。初めてワクチン接種する場合は、3～4週間隔で複数回の接種が必要です。また、接種後免疫ができるまで約2～3週間は他の犬に近づけないようにしてください。

感染症の症状

1 ジステンパー

ジステンパーウイルスの感染によって発病します。このウイルスは感染犬の鼻水、目やに、尿などに含まれます。発熱、下痢、鼻炎、結膜炎、呼吸器及び消化器障害を示し、神経症状を起こすこともあります。犬パルボウイルス感染症と同様に、特に子犬では死亡率の高い感染症です。

2 犬パルボウイルス感染症

激しい下痢、嘔吐を起こし、食欲がなくなり衰弱していきます(腸炎型)。また、子犬に対して突然死を起こすこともあります(心筋炎型)。感染犬の便中には大量のウイルスが排泄され感染源となります。伝染力が高く、ジステンパーと並んで子犬にとって死亡率の高い感染症です。

3 犬パラインフルエンザウイルス感染症

犬パラインフルエンザウイルスは「Kennel Cough(ケンネルコフ:犬の呼吸器症候群)」の原因の1つです。咳、鼻水などの呼吸器症状(風邪の症状)を示します。感染犬は咳などでウイルスをまきちらします。混合感染や二次感染を起こすと重篤になります。

4 犬伝染性肝炎

犬伝染性喉頭気管炎と同様に犬アデノウイルス(1型)の感染により発病します。感染犬の便、尿、唾液などから経口感染し、下痢、嘔吐、食欲不振などを示し肝炎を起こします。

5 犬伝染性喉頭気管炎(犬アデノウイルス2型感染症)

犬アデノウイルス2型は犬パラインフルエンザウイルスと同様に「Kennel Cough」の原因の1つで、咳を主な症状とする呼吸器系疾患を起こします。特に、他のウイルスや細菌と混合感染することにより症状が重篤になります。

6・7 犬レプトスピラ病(カニコラ型、イクテロヘモラジー型)

レプトスピラという細菌が原因の感染症で、感染動物の尿中に細菌が排泄され環境を汚染し感染源となります。症状は尿毒症、腎炎などを起こす場合(カニコラ型)と黄疸などの症状を起こす場合(イクテロヘモラジー型)があります。人にも感染する人獣共通感染症の1つです。

ノビバック®犬用ワクチンで予防できる感染症

	ノビバック® PUPPY DP	ノビバック® DHPPi(5種混合)	ノビバック® DHPPi+L(7種混合)	ノビバック® Pi(単味)	ノビバック® LEPTO(単味)	
コアワクチン® 有効抗体 持続期間3年	D	ジステンパー	ジステンパー	ジステンパー	-	
	H	-	犬伝染性肝炎	犬伝染性肝炎	-	
	P	犬パルボウイルス感染症	犬パルボウイルス感染症	犬パルボウイルス感染症	-	
ノン コアワクチン® 有効抗体 持続期間1年	Pi	-	犬パラインフルエンザウイルス感染症	犬パラインフルエンザウイルス感染症	-	
	L	-	-	犬レプトスピラ病(カニコラ型)	-	犬レプトスピラ病(カニコラ型)
	L	-	-	犬レプトスピラ病(イクテロヘモラジー型)	-	犬レプトスピラ病(イクテロヘモラジー型)

※ワクチンにはすべての犬に必要な「コアワクチン」、ライフスタイルや住んでいる地域によって必要となる「ノンコアワクチン」があります。